

<霊的備え>

あなたの指のわざである あなたの天 あなたが整えられた月や星を見るに
人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。
人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。
あなたは 人を御使いより わずかに欠けがあるものとし
これに栄光と誉れの冠を かぶらせてくださいました。

(詩篇 8：3－5)

<理解の手引き>

2章の創造の記事は、人間にスポットライトを当てて記しています。特に、ここでは神と人間とのかかわりについて記されています。

まず、人間の住む所として、エデンの園が備えられました。神はこのエデンの園で人間に労働の使命(耕す)と管理する使命(守る)を与えられました。そして、「園のどの木からでも思いのまま食べてよい」と言い、種類においても、量においても制限を設けませんでした。人間の労働に対するこの報酬は、神の恵みのプレゼントであると言えます。

しかし、神はここで、一つだけ「善悪の知識の木からは、食べてはならない」と禁止の命令を与えられました。一体神は、何故このような命令を与えられたのでしょうか。この命令は神にとって、また、人間にとってどのような意味があったのでしょうか。この命令は人間にとって守りやすい命令だったのでしょうか、それとも守りにくい命令だったのでしょうか？

<考えてみよう>

(観察) 人間はどのようにして創造され、どのような環境の中に置かれましたか？

.....
.....
.....

(解釈) ここで神は、何故一つだけ、禁止の命令を人間に与えられたのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) このことから、神と人間の関係について、どのようなことを学ぶことができますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....